

人形劇団「ぼろぼろん」の40年

人形劇団ぼろぼろん

高木 律子
連絡先：27-6272

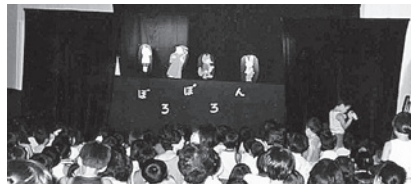
人形劇団「ぼろぼろん」は昭和50年11月11日に結成され、今年で40年を迎えました。当時は仕事をもちながら若者が集まり、青年活動が活発に行われていました。先輩保育士から「誰でもが親しめる自主的なサークル活動を始めよう」と声をかけられ、役場職員と共に結成しました。

「子どもたちに人形劇を通して生の舞台の楽しさを伝えたい」という思いで活動が始まり、安い費用で飾らずに「ぼろ」も工夫すれば何でも作れると、古ぼけたイメージから「ぼろぼろん」と名付けました。

初めての公演は、信濃整肢療護園で演じた2作品でした。

現在は町主催の「しもすわ人形劇まつり」へ参加し、今年で9回目を迎えます。自分たちの活動の発表の場でもあり、県内にある劇団の仲間との交流や研修の場であり、お互いに刺激し合えるよい機会にもなっています。

近年は、テレビゲーム・スマホ等機械音の刺激があふれ、メディアに向かう時間が多くなっています。五感を働かせて人とのつながりを持ち、共感や共有する体験が必要になってきてい



る時代だからこそ、人形劇を多くの子どもや大人に見てほしいと思います。

これからも劇団の仲間と共に、生の舞台のおもしろさ・楽しさを子どもたちに伝えていきたいと思っています。

マジックによるボランティア活動

下諏訪マジック愛好会

山口 敬章
連絡先：53-7378

下諏訪マジック愛好会が発足して16年目に入り、会員数10名で活動しています。毎年、講師をお迎えしての研修会を年4回行い、また、毎月1回の定例相互研鑽けんさんを実施して、技術の向上を図っています。

現在では、多くの依頼をいただき、各福祉施設・小学校・保育園などを訪問したり、地区敬老会や町の行事に参加させていただき、皆さんから元気と笑顔をいただいております。訪問回数は、会全体で年間70~80回ほどで、マジックの他にも、南京玉簾すだれ・銭太鼓・手遊び・紙芝居・歌などを取り入れて頑張っています。

平成26年度からは花田養護学校の地域交流会に参加させていただき、生徒さんと一緒に楽しんでいます。



下諏訪町の「おもてなし」を担って

下諏訪町観光ガイド

宮尾 静香
連絡先：27-2895

この会は、平成4年の御柱の年に発足しました。当初は20人ぐらいの人が携わっていたようですが、だんだん会員が減り、私が入会した平成14年には、8人しかおりませんでした。

秋宮で土曜日の午前のみガイドを行っていましたが、その後人数も増え、土・日曜日の2日間行うことになりました。平成20年からは、ガイド料を一部有料とし、秋宮に加え春宮でも行うようにし、時間も午前と午後行い、現在に至っています。

会員数23名おりますが、考えることは同じで下諏訪町に住んで何か町の役に立ちたいという思いです。また、ガイドをしているとお客様から「お宮に来て、ただ参拝するだけだと思っていたのに、下諏訪町やお宮のことをいろいろ教えていただきありがとう」と大変喜んでいただいております。

「ありがとう」の一言に、ボランティアをしていて良かったと至福のひと時に浸ります。



「四王ボランティアの会」の歩み

四王ボランティアの会

小平 澄子
連絡先：27-3782

私たち四王ボランティアの会は、平成8年10月に発足しまして、今年で19年目を迎えました。その間、会員の皆様の御理解と御協力により、今ではしっかり地域に根をはり楽しく活動しております。そして、平成18年には諏訪郡社会福祉大会に於いて10年目ということで表彰されました。それは会員の大きな喜びと励みになっております。私たちの会は、第一に会員が負担にならない活動でありたい。長く続けるには無理をしないということで出発しました。

活動内容

- ①ふれあい訪問……78歳以上の方々にティッシュを持って声をかけ安否確認をする。
- ②春秋の清掃活動……南四王、西四王歩道橋(ガード下)の清掃。早朝7時より1時間ぐらい。
- ③ふれあい茶話会……78歳以上の方々を招待して会員手作りのお弁当で楽しく交流。



この活動を通じて会員相互はもとより地域の方々とのおつき合いは広くなり、大変嬉しく思っております。会員は現在30名おりますが今後の課題としまして会員の高齢化が進み、もっと若い人が入会していただければと願っております。